2026年度第２回後援会理事会資料

地域福祉学科・大学院地域福祉学専攻の状況

１．地域福祉学科の主な年間予定

（前期終了）

月	年次	内容
4	4	専門科目「キャリア形成ゼミナール」（通年） ・社会福祉士、介護福祉士国試対策開始
5	4	地域福祉研究中間発表会
6	3	「コミュニティ・ソーシャルワーク実習」210 時間（社会福祉士）
6	2	「介護福祉実習Ⅱ」164 時間（介護福祉士）
6	4	「介護福祉実習Ⅳ」38 時間（介護福祉士）
8	3	「公共政策インターンシップ」（副専攻履修者）12 名
9	1	「福祉サービス入門実習」
9	2	学部共通科目「地域防災論」「地域防災演習」・防災士資格試験 55 名中　/52 名受験　/44 名合格

（後期予定）

10	2	土下座祭りでのお囃子隊（「地域文化演習」）
11	3	「介護福祉実習Ⅲ」164 時間（介護福祉士）
11	4	地域福祉研究発表会（卒業研究）
1	2	地域文化実習発表会（お囃子・備中神楽）
1・2	4	介護福祉士国家試験　：　１月31日（日）（受験申込者　13名） 社会福祉士国家試験　：　２月７日（日）　（受験申込者　48名）
2	1	「介護福祉実習Ⅳ」84 時間（介護福祉士）
2	1.3	基礎セミナール C・共生社会実践演習発表会
3	3	「ソーシャルワーク実習」30 時間（社会福祉士）

2. 4年生就職状況 【10.7 現在】

就職･進学状況(大学案内用)	2026 年度		2025 年度		2024 年度	
公務員	19	47.5%	13	25.0%	18	31.0%
社会福祉協議会	3	7.5%	5	9.6%	10	17.2%
福祉関係	12	30.0%	18	34.6%	10	17.2%
医療機関	4	10.0%	6	11.5%	8	13.8%
一般企業	2	5.0%	6	11.5%	11	19.0%
進学	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%
就職･進学せず	0	0.0%	2	3.8%	1	1.7%
卒業者数	40		52		58	
卒業予定者49名，2026年前期卒業者1名 計50名						

(内訳)

区分	人
公務員（国）	0
公務員（県福祉職）	2
公務員（県一般職）	1
公務員（市町村福祉職）★	8
公務員（市町村一般職）★	8
社会福祉協議会	3
福祉関係（児童・母子）	2
福祉関係（高齢者） ★	7
福祉関係（障害児・者）	3
医療機関（ソーシャルワーカー）	4
医療機関（介護職）	0
医療機関（事務職）	0
一般企業	2
大学院等進学	0
就職・進学先決定者数	４０ 75.5%

3. 大学院健康科学研究科 地域福祉学専攻について

本学大学院は、2023 年 4 月に「看護学研究科」から「健康科学研究科」に名称変更するとともに、地域福祉学専攻(修士課程)及び看護学専攻(博士後期課程)を新設、看護学専攻(博士前期課程)の改組を行いました。地域福祉学専攻(修士課程)では「福祉学の視点からみた中山間地域の全世代型地域包括ケアの追求･実践」を目指しています。

現在、地域福祉学専攻(修士課程)では、1 期生 4 名のうち 2 名が 2024 年度に修了し、残る 2 名も長期履修制度を利用して 3 年間で研究を進め、2025 年度に修了しており、1 期生は全員修了済みです。また、2 期生 2 名のうち 1 名が 2025 年度に修了し、残る 1 名は本年度の修了を予定しています。本年度は、2 期生 1 名及び 3 期生 1 名が 12 月中に修士論文を提出し、1 月 14 日の口述試験及び 2 月 2 日の公開発表会を経て、課程修了を予定しています。これにより、2 期生も本年度をもって全員が修了することになります。一方、3 期生の残る 2 名は、長期履修制度を利用し、2027 年度以降の修了を予定しています。次年度入学者については、現時点で入学予定者がおらず、2 月 20 日に 2 期入試を実施する予定です。

地域福祉学科 山本 浩史
大学院地域福祉学専攻 井上 信次